



2024～25 年度国際ロータリー・テーマ
RI 会長：ステファニー A.アーチック（米国）

鹿屋西ロータリークラブ週報

WEEKLY REPORT

NEWS

<https://kanoya24-rc.synapse.kagoshima.jp>

ROTARY 第 2130 回



2025 年 4 月 21 日

◆ゲスト紹介

中村ユウ子様（鹿屋西 RC 賞）
濱田 啓子様（鹿屋市更生保護女性会 会長）
福司山 武之様（のがた薬局（株）フォレスト代表取締役）
阪口 陽祐様（有限会社山下警備保障 専務）

◆ビジター紹介（4/28）

〔かのや東 RC〕 野元昭彦さん、山下かすみさん

◆会務報告

- 第 18 回地区インタラクティブ研修会のご案内
日時：2025 年 6 月 14 日(土)11:45～16:10
場所：都城ロイヤルホテル
- 青少年奉仕月間 リソースのご案内
- RI 日本事務局財団法人 NEWS 2025 年 5 月号
- 令和 7 年度鹿屋市青少年育成市民会議総会の開催について（お知らせ）
日時：令和 7 年 5 月 14 日(水)10:00～11:30
場所：鹿屋市役所 7 階大会議室
- バギオだより 2025 年 5 月号
- エアーメモリアル in かのや 2025 第 2 回実行委員会の開催について（ご案内）
日時：令和 7 年 5 月 29 日(木)10:00～10:30
場所：鹿屋商工会議所 3 階 3-1 会議室
- 地区研修・協議会 会場周辺駐車場案内図送付
- 訃報のお知らせ（海江田順三郎様ご逝去）
1996-97 年度ガバナー（鹿児島中央 RC）
- 「かのや未来創造プログラムー平和の花束ー」実行委員会の開催について（日程調整）
- エアーメモリアル in かのや 2025 パンフレット送付について（御礼）
- 創立 40 周年記念大会お礼状（かのや東 RC）
- 2025-26 年度クラブ・ラーニングファシリテーター（CLF）選任のお願い
- 「かのや未来創造プログラムー平和の花束ー」第 1 回実行委員会の開催について（御案内）
日時：令和 7 年 5 月 20 日(火)18:30～
場所：鹿屋市役所 別館第 1 会議室
- 令和 7 年度鹿児島県青少年育成県民会議総会の出席について（依頼）
日時：令和 7 年 6 月 5 日(木)10:00～11:40
場所：鹿児島県青少年会館 大ホール
- RI 第 2730 地区鹿児島県東部グループ 新旧合同会長・幹事会、東八会の開催について
日時：2025 年 6 月 14 日(土)18:30～
場所：志布志湾大黒リゾートホテル
- 風の便り Vol.10 No.9
- 週報 …… 鹿屋・かのや東・串良・きもつき 南九州大崎・志布志・志布志みなと RC
- 5 月例会変更のお知らせ
〔鹿屋 RC〕 7 日(水)特別休会
28 日(水)クラブ協議会 18:30～
〔かのや東 RC〕 8 日(木)⇒10 日(土)へ変更
ロータリー奉仕デー海岸清掃の為
浜田海岸(海水浴場) 例会 11:00～
29 日(木)全員クラブ協議会 18:30～
〔串良 RC〕 5 日(月)理事会を 12 日(月)に変更
26 日(月)最終クラブ協議会 18:30～
〔南九州大崎 RC〕 8 日(木)⇒10 日(土)へ変更
ロータリー奉仕デー 海岸清掃
15 日(木)⇒18 日(日)地区協参加
22 日(木)家族例会の為、焼肉しろやま
29 日(木)5 週月のため休会

次回プログラム		
5 月 19 日 (月)		
卓 話 者：全員クラブ協議会 18:30～		
担当委員会： 会長		
3分間スピーチ： —		
出席報告	会 員 数	(39)40 名
	出 席 数	32 名
	出 席 率	82.05 %

メイクアップ情報			
鹿 屋	05月14日	(水)	ホテルこばやし
かのや東	05月15日	(木)	かのやランドホテル
串 良	05月12日	(月)	セントロランド 道の駅
志 布 志	05月13日	(火)	大黒本店 12:30～
きもつき	05月15日	(木)	高山温泉ドーム
南九州大崎	05月15日	(木)	セントロ大隅 地区研修・協議会参加
志布志みなと	05月14日	(水)	大黒本店 時間変更19:30～

鹿屋西ロータリークラブ

会 長：鶴丸 秀治
副会長：王谷 英仁
幹 事：假屋 博行



例会日 月曜日 12:30～13:30

例会場 ホテルさつき苑 TEL:40-1212

事務局 〒893-0064 鹿屋市西原1丁目9-10

ホテルさつき苑内 TEL:44-5811 FAX:41-1959

E-mail kanoya24@po5.synapse.ne.jp

〔志布志 RC〕 6 日(火)振替休日のため休会
13 日(火)12 : 30 ~ 通常例会
20 日(火)理事会開催(例会なし)
〔志布志みなと RC〕 14 日(水)19 : 30 ~
28 日(水)19 : 30 ~

◆伝達式 (米山功労者)



深水嘉寿さん

表彰(鹿屋西ロータリークラブ賞)



中村ユウ子様

あなたにわたる三十年以上の長きにわたる鹿屋市更生保護婦人会の理事としてご尽力され、犯罪や非行のない明るい地域社会の実現と青少年の健全育成に貢献してこられました。また子ども食堂や高齢者サロンの立ち上げ・運営など地域に根ざした温かい活動は多くの人々に希望と安心をもたらす高く評価されております。ここにこれまでのご功績をたたえ感謝の意を表するとともに記念品を添えて表彰いたします。

会長の時間

会長 鶴丸秀治さん



平和の大使 (台湾派遣)

今回は、2月18日から3泊4日で行われました「平和の大使」派遣事業のその後についてです。

ロータリーの友へ投稿を滝本さんに依頼しました。数日後、滝本さんから原稿をいただき、確認するうちに男の子のお母様の言った言葉が浮かんできました。

はると君のお母様から、「台湾から帰った日は、かねては無口な息子が、夜遅かったのに、息継ぎもせず体験したことを嬉しそうに話してくれました。」テンションが上って嬉しそうに話す様子が浮かんできました。

いただいた文章を「ChatGPT」を使って、滝本さんに伝えていなかった部分を挿入するとどうなるか試

してみようと思いました。

ChatGPT とのやり取りから御覧ください

まず、私から以下の文章を随筆のような興味をそそる文章に変えてください。と打ちました。そうすると、ChatGPT が

「もちろんです。元の文章を拝見してから、それを随筆調に書き直しますので、変換したい文章を送ってください。」と返答します。

元の文章は以下のとおりです。

かのや未来創造プログラム（鹿屋市主催、鹿屋市教育委員会運営）として多くの若者が特別特攻隊として飛び立った鹿屋から、世界へ児童・生徒の「平和のメッセージ」を発信する事業で本年度鹿屋西ロータリークラブは 2024 年度最優秀賞受賞者 2 名を

「平和の大使」として台湾へ派遣いたしました。

中学 1 年生の男子生徒と中学 3 年生の女子生徒に引率として当クラブの男性 1 名と女性 1 名が同行しました。旅程は 3 泊 4 日。生徒 2 人は海外旅行が初めてで、出国から台湾入国までドキドキ緊張の様子でしたが、空港でこやかに温かく出迎えてくれた 1996 年からの友好クラブである龍潭ロータリークラブの皆さんと対面した際は少し安堵の笑顔を見せていました。到着後、国立台北教育大学へ移動し大学の関係者や生徒達と交流し、皆さんへかのやカンパチダンスを披露。夕食はホストファミリーである龍潭ロータリークラブの家族とショッピングモールで・・・と続きますが、時間の関係でこれ以降は割愛させていただきます。

5 秒ぐらいした後に、以下に、いただいた文章を随筆風にリライトいたしました。やわらかく情感を込めて、「平和のメッセージ」を未来へつなぐ物語としてお読みいただけるように工夫しています。と言ってきます。すると ChatGPT がこのような文章を返ってきます。

「未来への旅路 — 平和の大使としての 4 日間」

かつて多くの若者が特攻隊として大空に飛び立った町、鹿屋。その地から、今度は未来への希望を携えた二人の中学生が、静かに世界へと羽ばたいた。鹿屋市が主催し、鹿屋市教育委員会が運営する「かのや未来創造プログラム」。その一環として行われる「平和のメッセージ」事業において、今年度の最優秀賞を受賞した中学 1 年生の男子生徒と中学 3 年生の女子生徒が、鹿屋西ロータリークラブの推薦により「平和の大使」として台湾へ旅立った。

引率には当クラブの男性・女性それぞれ 1 名が同行し、3 泊 4 日のプログラムが始まった。

二人にとっては、はじめての海外。出国ゲートをくぐる瞬間の表情には、好奇心と不安が入り混じった張りつめた緊張がにじんでいた。

ご希望があれば、タイトルの変更やもっと短めの随筆風アレンジも可能です。お気軽にどうぞ。

と言ってきました。

男子生徒の母親から、かねて口数の少ない息子が息継ぎもせず台湾での出来事を話をしてくれたと。そのことを挿入したいです。と入れました。

すると、ChatGPT から、**ありがとうございます。とても温かく印象的なお話ですね。そのエピソードを自然な流れで挿入し、さらに文章全体に深みが出るように以下のように加筆してみました。**と返してきました。

先程の文章に加え、帰国後、男子生徒のお母さまからこんな話を伺った。

「普段は家であり多くを話さない息子が、台湾での出来事を夢中で話してくれたんです。息をするのも忘れるくらいに、一気に。」その言葉に、今回の旅が彼にとってどれほど心を揺さぶる体験だったかが、何よりもよく伝わってきた。

すると ChatGPT は文章を作った直後また、返ってきます。

もしこの挿入エピソードを文頭にもってきたい、あるいはもっとドラマチックにしたいなど、ご希望があれば、さらに調整可能です。お気軽にどうぞ。

私は、もっとドラマチックにするとどうなりますか？と打ち返してみました。

そして出来上がって、ロータリーの友へ投稿した文章がこちらです。

「未来への旅路 — 息子が語った、初めての言葉」

「息をするのも忘れるくらいに、話してくれたんです。あの子が、こんなに言葉を重ねるなんて……」旅を終えた中学1年生の男子生徒の母親は、目をうるませながらこう語ってくれた。

普段は寡黙で、自分の気持ちを多くは語らない息子が、台湾での出来事を、まるで映画を語るように熱く、饒舌に、止まらない勢いで話し続けたという。言葉のひとつひとつに、目にした風景、出会った人々、感じた思いが、瑞々しく宿っていたと。

その瞬間、私たちは確信した。この旅は、彼の心の奥深くに、消えない光を灯したのだと。

かつて特攻隊の若者たちが未来を託して飛び立った町、鹿屋。そこから今、新たな“飛翔”が始まろうとしていた。鹿屋市が主催し、鹿屋市教育委員会が運営する「かのや未来創造プログラム」。

その一環である「平和のメッセージ」事業において、今年度の最優秀賞を受賞した中学生2名が、鹿屋西ロータリークラブの推薦で“平和の大使”として台湾へ旅立った。

3泊4日——たった4日間の旅。けれど、その短い旅程には、彼らがこれからの人生を歩むうえでの指針となる体験が、ぎゅっと詰まっていた。

台湾に降り立った二人を出迎えたのは、1996年からの友好クラブである龍潭ロータリークラブの温かな笑顔。緊張と不安に包まれていた表情が、少しずつゆるんでいく。そして、国立台北教育大学での交流。元気いっぱい披露した「かのやカンパチダン

ス」に、台湾の学生たちの拍手が響いた。

夕食では、ホストファミリーに連れられてローカルフードに挑戦。異国の味に驚きながらも、食文化の豊かさに目を輝かせた。

翌朝は、Taipei Long Men Junior Highschool で台湾の学生たちとともに授業を受ける。

英語の授業では、世界のヒットソングを使って学ぶというユニークなスタイル。そこで二人は、堂々と英語でスピーチを披露した。驚きは続く。

休み時間になると、全校生徒が校庭へ駆け出し、運動をするのが日常だという。

言葉の壁を越えてバスケットボールに興じる姿は、どこの国の中学生とも変わらない、若さと友情の象徴だった。

昼食では、クラスメイトと並んで給食をいただく。言葉は違えど、笑顔やジェスチャーで、自然と心が通じ合う。

三日目は観光の日。台北101の圧倒的な高さに見上げ、九份では石畳の坂道を歩きながらノスタルジックな風景に触れた。夜は幻想的なランタンフェスティバル。灯りが空へ昇るたび、彼らの心にも「平和への祈り」が少しずつ満ちていった。

最終日には美術館で日中韓の書の展示を鑑賞。

言葉、文化、表現——国を越えた「伝える力」に触れる貴重な時間となった。

そして冒頭の言葉へと戻る。

「話すことが苦手だった子が、こんなにも伝えたいものを見つけて帰ってきたんです」平和とは、戦争がないことだけではない。人としての尊厳、違いを尊重し合うこと、そして心から誰かとつながりたいと願う気持ち。それこそが、平和という名の“種”なのだと、私たちは彼らから教えられた。

この小さな“平和の大使”たちが、これからどんな未来を築いていくのか。その旅立ちの第一歩に、私たちは静かに胸を打たれている。



3分間スピーチ

前田数郎さん

鹿屋市商店街連合会 令和6年度 視察研修



本日の3分間スピーチは、先日行われました鹿屋市商店街連合会 令和6年度視察研修に付いてお話させていただきます。また、時間の関係上今回は滋賀県守山市を中心にお話させていただきます。

日時：R7.2.15(土)～R7.2.16(日) <1泊2日>

行先：【1日目：滋賀県大津市、滋賀県守山市】

(視察・見学先) 琵琶湖、石山寺、セルバ守山、
株式会社みらいもりやま 21
ほたる通り商店街、中央商店街、
守山銀座商店街協同組合

【2日目：大阪府吹田市、大阪府大阪市】

吹田市旭通商店街協同組合、
KITTE 大阪 (かごしま屋)

研修先：株式会社みらいもりやま 21

吹田市旭通商店街協同組合

参加者：15名

研修内容【1日目】…株式会社みらいもりやま 21
座学研修(1時間)／まち歩き(1時間)

テーマ：複数の空き区画に対するサブリースを用
いたテナント誘致と管理

座学会場：セルバ守山

講師：ゼネラルマネージャー 石上 僚 氏 (タウンマネージャー)



15名参加 (6名は西ロータリークラブメンバー)

○商店街の状況

- ・鹿屋市と同様に空き店舗が多く、商店街の会員数は減少している。
 - ・商店街の補助金申請等も(株)みらいもりやま 21 が手助けしている。
- ※ただし、守山市が「住みやすさ」をコンセプトにまちづくりを進めており、人口は増加を続けている。

○(株)みらいもりやま 21 のこれまでの取組

- ・平成 20 年に(株)みらいもりやま 21 設立。
- ・守山市中心市街地活性化交流センター「あまが池プラザ」(幼稚園と小学校を合築した福祉文化交流施設)の指定管理を受託し、施設内の空きスペースにカフェレストランとフラワーショップを併設したカフェを誘致。市民のコミュニティ形成や起業支援、音楽コンサートやマルシェイベントによる賑わいを創出。



守山市中心市街地活性化交流センター「あまが池プラザ」

(幼稚園と小学校を合築した福祉文化交流施設)



施設内の空きスペースにカフェレストランとフラワーショップを併設したカフェを誘致。市民のコミュニティ形成や起業支援、音楽コンサートやマルシェイベントによる賑わいを創出。

- ・守山市が譲り受け、改修した守山市歴史文化まちづくり館「うの家」(宇野宗佑元内閣総理大臣の邸宅跡)の指定管理を受託し、空きスペースに近江牛のレストランと蔵を活用したカフェを誘致。市民ギャラリーや交流スペースなど貸室による市民のコミュニティ形成や起業支援、マルシェイベントによる賑わいを創出。



守山市が譲り受け、改修した守山市歴史文化まちづくり館「うの家」
(宇野宗佑元内閣総理大臣の邸宅跡)

- ・守山駅直結の複合施設「セルバ守山」のテナント誘致。地権者から守山市が賃貸し、(株)みらいもりやま 21 へ転貸。さらに、(株)みらいもりやま 21 が誘致する事業者へ再転貸。
(株)みらいもりやま 21・管理組合・守山市が協力体制を構築し、大手企業と連携して「セルバ守山」の地下 1 階に食と文化をテーマとした「チカ守山」をオープン。
- ・サブリース等により年約 3,000 万円の収益を確保することに成功。安定した収益事業をベースに、中心市街地における新たなテナント誘致や販売促進、情報発信、イベントなど、まちづくりに関わる様々な取組みを展開。

○関係団体との連携

- ・守山市長・守山商工会議所会頭、(株)みらいもりやま 21 代表取締役は、月に 1 度ミーティングを行って、情報共有を図っている。

【まとめ】

2 日間を通じて、まちづくり・商店街活性化には、「よそ者」・「ばか者」・「若者」＋「女性」が必要であるということを改めて実感しました。

1 日目については、守山商工会議所の大崎会頭の「市・まちづくり会社・会議所・観光協会等が押し付け合うのではなく、連携を密にして、お互いを補い合うことが大切であり、風通しを良くしないといけない。そのために我々は月に 1 回は顔を合わせて

いる。」という言葉が印象に残りました。また、到着の出迎えや出発の見送りはもとより、座学に森中守山市長が参加されたり、懇親会に守山商工会議所の大崎会頭・鶴飼副会頭（株みらいもりやま 21 代表取締役）が参加されたり、2 次会・3 次会など最後までお付き合いいただいたり、今までの視察研修では体験したことがないおもてなしでした。

鹿屋西ロータリークラブ賞

中村ユウ子様（鹿屋市更生保護女性会 顧問）

「更生保護女性会について」

1. 更生保護女性会のシンボルマーク

「八重桜」の花言葉

理知、しとやか、豊かな教養
善良な教育、理知に富んだ教育など



更生保護に携わる女性会員たちのイメージ

やさしさ、強さ、献身、穏やかさ、忍耐強さ

2. 更生保護女性会の組織（令和 6 年度）

名 称	理事長・会長	地区会数	会員数	備 考
日本更生保護女性連盟	千葉景子	1,263	119,430	r 5.2.17 から一般社団法人に
九州地方更生保護女性連盟	長野瑛や子	173	12,700	日更女の副理事長
鹿児島県更生保護女性連盟	長野瑛や子	27	893	

3. 大隅地域振興局管内にある更女会（令和 6 年度）

地区会名	会員数	地区会名	会員数
鹿屋市	44	曾於市	14
南大隅町	21	志布志町	20
		松山町(休会中)	12
		有明町	19
		大崎町	18

4. 「鹿屋市更生保護女性会」の沿革について

昭和 31 年、保護司夫人を中心に、オパール婦人会として結成される。

昭和 43 年 3 月、民生委員や有志婦人により青少年を守る母の会が生まれる。

昭和は 51 年 7 月 24 日 鹿屋市更生保護婦人会の創立総会を開催。

平成 15 年 4 月 1 日 鹿屋市更生保護女性会に改称

5. 鹿屋市更女会の主な活動について

① 青少年育成広報

偶数月の第 3 土曜日「青少年育成の日」、第 3 日曜日「家庭の日」の前の金曜日に、青少年育成センターの青少年育成指導員が運転される巡回車（青パト）に、会員 2 名が 1 時間同乗させてもらいマイクで呼び掛ける。昭和 58 年度の総会資料に記載があり 40 年以上の活動。（奇数月は鹿屋市地域婦人団体連絡協議会が実施されている。）

② 「鹿屋市更生保護女性会だより」を会員向けに年 3 回発行

7 月、12 月、3 月をめどに発行していて、保護司会など関係機関の一部にも配布。

③ 「社会を明るくする運動」メッセージ伝達式及び出発式に参加（肝付保護区保護司会鹿屋支部主催）

7 月 1 日に市民ホールで総理大臣のメッセージを市長へ、県知事のメッセージを副市長へ伝達式。その後、出発式があり市内の大型店舗等でポケットティッシュ等を配布して啓発活動を行う。毎年 7 月は「社会を明るくする運動」強調月間で今年は第 75 回。

④ BBS 会鹿屋地区会の活動に協力参加

鹿屋っこ JLC（ジュニアリーダークラブ）企画「夏休み宿題手伝い隊」「冬休み宿題手伝い隊」の応援活動や「鹿屋てのん塾」活動に対して協力参加する。

⑤ グラウンドゴルフ大会、福祉まつり等、関係機関の会議・研修・行事に参加。

⑥ ペットボトルキャップ、プルタブを回収して社協へ持参。

タオルを集めて県連盟へ、男性用衣類などを集めて更生保護施設「草牟田寮」へ宅配で送る。

⑦ ビスケット、はるさめ、そうめん、皇室カレンダーの販売益金を活動資金の助けとしている。

⑧ 総会、理事会、研修会、ミニ集会等を実施。

九州大会や県連盟の会議・研修・行事に参加。

⑨ 日更女の令和 7 年度「地域との連携・協働活動推進地区」指定（平成 25 年度にも事業を実施）。

更女会の会議・研修等でよく使われることば

「できる人が できる時に できる事を」

日更女のスローガン「青少年に母の愛を」

鹿屋市更女会のスローガン「声かけ運動の強化」

◆スマイル報告

〈 3 件 〉

- 4 月 12 日～19 日までシカゴでの規定審議会に出席し四つのテストを念頭に投票して来ました。詳しくは月信、地区研修・協議会等で報告致します。貴重な経験有り難う御座居ました。福司山さん、坂口さん、ようこそお出でいただきました。…… 風呂井
- 西ロータリークラブ賞授賞の中村ユウ子様、お試しの福司山さん、坂口さん、ご入会おまちしております。…………… 鶴丸
- 中村様、ロータリー賞受賞おめでとうございます。又、坂口さん、福司山さん、鹿屋西ロータリーへお越し下さり誠にありがとうございます。是非ご入会をお待ちしています。…………… 久木田
- 本日の米山 BOX スマイルは 1,818 円です。

累計(一般) 241,000 円

(財団) 167,825 円 (米山) 183,976 円

***** ありがとうございました *****

週報担当： 志村